

こども広場ひかり評価アンケート(保護者)集計一覧 2022年3月集計

アンケート配布:16家庭(回収数:11家庭)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	対応策
環境・ 体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	11	0	0		子どもたちの体が成長する中で、事業所の広さは常に課題となっています。ご意見にはありませんが改善できるよう方策を探りたいと考えます
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2	0		配置数に関しては、基準以上の配置を行い、ここへの対応ができるよう配慮しています。 専門性に関してはこども広場ひかりでの経験がイコール専門性とはならないため、様々なテーマでの療育活動に対する研修の実施、あるいはケース会議における情報の共有を通してスタッフの専門性の向上を目指しています。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	7	1	1		既存の住宅を利用した事業所であるため、完全な構造化を図るには無理があります。当然工夫をすすめる中で、できるだけ特性に応じた対応ができるよう心掛けています。室内は概ねバリアフリー化しています。今後はピクトグラムなどを活用し構造化に対しての情報伝達ができるよう対応したいと考えます

	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	1		高学年と低学年の遊びや取組の内容の違いから、それぞれについてのスペースの確保に関しては、大きく改善が必要であることは認識しています。また建築から相当年数が経過していること。もともと一般住宅であることから、床材の劣化の影響による子どもたちの怪我の問題など、すぐにでも改善を図りたいと考えます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	0	0		モニタリング等いつもご協力をいただきましてありがとうございます。今後も支援計画の更なる充実に向けご理解とご協力をよろしくお願い致します
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	0		お子様や、ご家族の状況など各ご家庭により異なることから、最適な支援ができるよう寄り添うことができたかと考えています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	0		適切な支援ができるよう意識づけと情報共有を徹底しています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1	0		設定活動については、集団療育の課題に沿った形で取り組みを行っています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	3	5	1	・コロナ禍なので仕方ないですね。	事業所外の子どもたちとの交流に関しては、新型コロナウイルス感染症対策上から、ここ2年間には行えていませんが、コロナ禍収束後にはしっかり取り組めたりと考えています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	対応策
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0		今後とも丁寧で分かりやすい説明を心掛けたいと考えます。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10	1	0		今後ともわかりやすい説明を心掛けたいと考えます
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	1	0		現在は十分とは言えませんが、家族支援プログラムは重要であることから、今後とも状況に応じた対応を心掛けたいと考えます
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	1	0		連絡ファイルを活用するほか、特に気になる部分に関しては直接連絡をし共有を図っています
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1	0		コロナ禍において不足する部分に関しては今後は改善していきたいと考えます。
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	5	0	・もう少し色々な方の体験談などが知りたいです。参加者が増えるといいですね。	コロナ禍により不十分である点は今後改善すべき課題として取り組んでいきます
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	1	0		保護者からの相談はもちろん、子どもからの訴えに対しても現状把握に努め、課題抽出と対応について協議し、解決に向かえるよう対応することになっています

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1	0	連絡ファイルを基本とし、スマホのメッセージ機能やなども連絡媒体として利用しています。それ以外にも有効な伝達手段があれば採用していきたいと考えます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に対する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	0	0	毎月発行しているひかりだよりはもちろんのこと、採用している支援システムにも保護者はログインできることから、行事予定や子どもの毎日の様子などをケース記録から確認することができます。自己評価の点検結果については個別に手渡しする以外にもホームページ上で公開していることから、いつでも確認することができます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	0	0	個人情報については管理を徹底し、個人情報取り扱い規定等により適切に対応します。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	1	0	緊急時対応マニュアル等については、マニュアルに沿った訓練の実施により、それにも基づく検証をPDCAサイクルに基づき取り組んでいます。今後も更なる周知の徹底を図りたいと考えます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	0	0	別海消防署及び中標津警察署の協力等を得て実施しています。

満足度	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1	0		常に通所を楽しみにしてもらえるよう、工夫と努力をしたいと考えます。
	②③	事業所の支援に満足しているか	11	0	0	・いつもお世話になりありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。	支援の技術と専門的な知識を背景に取組めるよう、必要な研修の受講やOJTにより日々精進したいと考えます。